



プラン・インターナショナル ポリシーブリーフ SB60 子どもと気候に関する専門家対話と交渉

2024年6月4日

気候危機は女の子、特に最も疎外されている女の子に不平等な影響を与え、既存の不平等を悪化させ、女の子の権利を脅かしている。しかし、女の子は強力な気候擁護者であり、リーダーであり、気候危機に対処する行動の革新者でもある。

「行動を起こすのは今です。気候危機は、私たち子どもやユースに重くのしかかり、将来への不安と恐れで私たちが苦しめています。いま、未来が破壊されかけているのなら、どんな未来を描けるのでしょうか？」

Ineza Umuhoza Grace、ユース気候活動家、ルワンダ

要約

第60回国連気候変動枠組条約(UNFCCC)補助機関会合(SB60)に先立ち、プラン・インターナショナルは、「子どもと気候」に関する専門家対話、ならびに「気候変動エンパワーメントのためのアクション」、「適応」、「損失と損害」、「資金」に関する主要な交渉行程に貢献するため、本ポリシーブリーフを作成した。

プラン・インターナショナルの提出文書と政策提言は、安定・脆弱・紛争の影響を受けた状況下で、気候危機が女の子の教育、保護リスク、健康に及ぼす不平等な影響についての分析と証拠に基づいている。また、女の子の生の体験と行動を求める声によって構成されている。

プラン・インターナショナルは、「子どもと気候に関する SB60 専門家との対話」とドイツ・ボンでの交渉において、気候政策と行動に対するジェンダーに配慮した世代間アプローチに関する COP28 の公約を推進するよう求める。意思決定には、多様な女の子の視点と優先事項が反映されなければならない。

はじめに

10億人の子どもが、気候変動の影響により極めて高いリスクにさらされている¹。気候危機は、年間災害件数を大幅に増加させており、2015年には400件だった自然災害が、2030年には560件に達すると見られている²。気候変動は、最も疎外された人びとの権利に最も深刻な影響を与え、特に女の子のジェンダー不平等を拡大する³。

プラン・インターナショナルは、最も疎外された人も含め、あらゆる多様性を持つ女の子が、その権利を完全かつ平等に享受でき、それが気候変動の脅威により妨げられてはいけなと考える。

また、女の子は強力な気候擁護者であり、気候変動対策のリーダーでもある。プラン・インターナショナルは「フェミ

¹ Save the Children, [Generation Hope: 2.4 billion reasons to end the global climate and inequality crisis](#), 2022.

² United Nations Office for Disaster Risk Reduction, [Global Assessment on Disaster Risk Reduction: Our World at Risk Transforming Governance for a Resilient Future](#), 2022.

³ Plan International, [Real Lives, Real Choices Climate Change and Girls Education: Barriers, Gender Norms and Pathways to Resilience](#), November 2023.



ニスト参加型行動調査」の手法を推進し、女の子とユース女性が自身のコミュニティで調査を行い、気候変動が女の子の生活と未来をどう変容させるかについての証拠資料を作成している。彼女たちは知識の創造者であり、調査対象ではない。彼女たちの物語、彼女たちの経験、そして彼女たちが生き、目撃している現実を、彼女たちがどう解釈しているかが重要なのである。

1 | 気候危機：女の子への不平等な影響

1.1 女子教育への不均衡な影響

気象災害は、女の子の教育へのアクセスを阻害する。気候危機の影響に直面したとき、家族が最初に犠牲にするのは教育であることが多い。女の子は、家族が食料や水を調達するのを手伝ったり、弟妹の面倒を見るために、学校から引き出される。これは幼少期から始まる。このことは、女の子の無償のケア・ワークにかかる負担を増大させ、貧困とジェンダー不平等の連鎖を永続化させる。また、気象災害は、緑地や安全な遊び場の喪失につながることも、子どもが遊ぶ時間、特に女の子の遊ぶ時間に影響を与え、発達や学習に不可欠なライフスキルを身につける能力にも影響を与える。

2021年の気象現象により、中低所得国では少なくとも400万人の女の子が教育を修了できなかったと推定されている⁴。この傾向が続けば、気候変動は、2025年までに毎年少なくとも1,250万人の女の子が学業を修了するのを妨げる一因となるだろう⁵。

「大雨が降っています。移動も、遊びも、学校に行くことさえできません。私たちの学校は雨漏りしています。雨でも勉強を続けられるような、インフラを整うことを願っています」 Hamda、12歳、ソマリランド⁶

「気候変動は、女の子が教育を受ける上での課題を悪化させます。長引く干ばつ、不規則なモンスーン、異常気象は彼女たちの日常生活を乱し、通学を危険なものにしています。気候変動による災害によって家事責任が強化され、多くの女の子が家族を助けるために学校を中途退学せざるを得なくなります」 Chetana と Samikshya、思春期の女の子、ネパール⁷

「普通、男の子は女の子のようにはなれないし、女の子ほど家庭の世話ができないから、親が男の子に学校をやめるように言うとは思わないわ」Uyen、16歳、ベトナム⁸

1.2 女の子の保護リスクへの不平等な影響

子どもの保護リスクは、気候変動のショックやストレス要因によって悪化する。強制的な早すぎる結婚(CEFMU)は、

⁴ Inter-agency network for Education in Emergencies (INEE): [Mind the Gap 2: seeking safe and sustainable solutions for girls education in crisis](#), 2022.

⁵ Malala Fund, a greener, fairer future (2021)

https://assets.ctfassets.net/0oan5gk9rgbh/OFgutQPKIFoi5lfY2iwFC/6b2fffd2c893ebdebee60f93be814299/Malala_Fund_GirlsEducation_ClimateReport.pdf

⁶ Plan International blog to be published later in 2024.

⁷ Plan International, [For Our Futures: Youth Voices on Climate Justice and Education](#), December 2023.

⁸ Plan International, [Real Lives, Real Choices Climate Change and Girls Education: Barriers, Gender Norms and Pathways to Resilience](#), November 2023.



気候変動による経済的苦境に対処するために、家族が採る手段である。これにより、数百万人の女の子が性的・身体的虐待、早期妊娠、妊産婦死亡の危険に瀕している。気候変動の影響は、紛争と並んで移住の要因にもなり、女の子の安全を危険にさらす。こうしたリスクは、女の子が天然資源を集めたり、一時的な避難所に滞在しているときに高まる。

「女の子なので、雨で家が壊されると、両親は私たちに代わって近所に避難所を探します。そこで、その避難先に住んでいる男の子や男性にいいようにされてしまうのです」 女の子、ザンビア⁹

「時には、食べ物を得るために女の子は男の子に身を委ね、冒険の味に溺れた女の子は学校を中途退学するのです」 Reine、17歳、トーゴ¹⁰

1.3 女の子の健康への不平等な影響

気候変動は、性と生殖に関する健康や、感染症への脆弱性の増大、栄養不良、メンタルヘルス不良など、女の子にとって重大な健康リスクをもたらす。気候変動に関連する世界の疾病の88%は、5歳未満の子どもが罹患している¹¹。気候変動による健康への経済的コストは、2030年までに年間20億～40億ドルに達すると推定されている¹²。

気候変動は食料と水の安全保障を脅かし、女の子の栄養とウェルビーイングに不均衡な影響を与える。急性飢餓に瀕する世界の3億4,500万人のうち、半数近くが子どもである¹³。2040年までに、子どものほぼ4人に1人が、水ストレスの極めて高い地域に住むことになると予測されている¹⁴。食料不足の際、女の子は飢えやすく、一番最後に食べることになるため、飢餓と栄養不良につながる。

「骨が痛むこともあります。食べ物が無い夜もあります。そんな夜が続くと、私は学校に行くのに起きられなくなります。学校にいるのが苦痛です。胃がキリキリと痛みます。」干ばつによる食料不足に苦しむジンバブエのコミュニティに住む Beauty、13歳。毎日、朝4時に起きて水を汲み、9kmの道のりを歩いて学校に通っている¹⁵。

「土地に頼っている人は大変です...水に頼っている人は、漁をするのが大変です...お金があれば、市場で買えるので問題ないのですが、そうでないと、暑いので、自力で食料を探すのが大変です」 Leakhena、16歳、カンボジア¹⁶

「降雨量が少ないため、私たちは動物と水を共有するようになり、それが水を汚染し、健康や月経衛生を維持することを難しくしています。」女の子フォーカス・グループ、ザンビア¹⁷

⁹ Plan International, [Adolescent Girls in the Climate Crisis: Voices from Zambia](#), September 2021.

¹⁰ Plan International, [Real Lives, Real Choices Climate Change and Girls Education: Barriers, Gender Norms and Pathways to Resilience](#), November 2023.

¹¹ Sheffield PE, Landrigan PJ. [Global climate change and children's health: threats and strategies for prevention](#), Environ Health Perspect. 2011 Mar;119(3).

¹² WHO, [Climate Change and Health](#), October 2023.

¹³ World Food Program, [A generation at risk: nearly half of global food crisis hungry are children, say WFP, African Union Development Agency NEPAD, The Education Commission and education partners](#), September 2023.

¹⁴ UNICEF, [Water Scarcity](#), Accessed, March 27, 2024

¹⁵ Plan International, [5 ways climate change is disrupting girls' lives](#), Accessed May 2024.

¹⁶ Plan International, [Real Lives, Real Choices Climate Change and Girls Education: Barriers, Gender Norms and Pathways to Resilience](#), November 2023.

¹⁷ Plan International, [Adolescent Girls in the Climate Crisis: Voices from Zambia](#), September 2021.



2 | 気候政策の解決策: 女の子への不平等な影響に対処するための入口

2.1 気候変動に対する力づけのための行動

「気候教育が重要なのは、他の何よりも気候変動対策を促進できるからです。『子ども気候カード』は、私たちや私たちの世界が直面する最も差し迫った気候の課題と、それにどう対処するかについて、若い学習者を教育するのに有用でした。」 Abdirhman Yusuf Nuur, Gatiitaley 小学校校長、トグディール、ソマリランド¹⁸

「私たちはまた、参加するためのより多くのスペースを提供されるべきです...これらの活動を展開できる人とともに、当局の中で。しかし、同時に、私たちの意見や考えが聞き入れられ、私たちの提案を共有することができ、それが考慮され、問題解決の一部となるような場も必要なのです。」 Joselim, 16 歳、ペルー¹⁹

「子どもやユースは、意思決定委員会の一員である必要があります。例えば、地方レベルでは、議会に出席し、意思決定を行う必要があります。意思決定者は責任を負わなければなりません。」 Dalitso, 14 歳、ザンビア²⁰

女の子には、気候危機の不平等な影響に対処するため、自身に影響を与える意思決定プロセスに参加する権利がある。しかし、彼女たちは気候に関する意思決定プロセスから排除されることが多く、解決策に貢献し、彼女たちの未来を形作る能力が制限されている。2021 年のプラン・インターナショナルの調査では、思春期の若者とユースの 91% が、「気候変動政策の意思決定プロセスに参加するのは難しい」と回答した²¹。このような状況にもかかわらず、女の子は、アクティビストとして、またユースや女の子が主導する組織やネットワークのメンバーとして、気候変動問題について積極的にキャンペーンを展開している。

気候教育は、女の子がリーダーシップを発揮し、気候変動政策と行動への有意義な参加を促進するための鍵であり、レジリエントな教育システムは、気候変動の影響から子どもをより守ることができる。これは特に女の子に当てはまる。調査によると、女の子の就学年数が 1 年増えるごとに、気象災害にへの国のレジリエンスが大幅に向上する、とされている。「気候エンパワーメント行動 (Action for Climate Empowerment, ACE)」の下での教育には、教育への継続的なアクセスの確保と、教育課程における気候教育の両方が含まれなければならない。「包括的学校安全枠組み (Comprehensive School Safety Framework)」は、子ども主導の気候変動対策を促進するリソースと並んで、誰もが安全で公平かつ継続的に質の高い教育を受けられるようにするための指針を提供するものである。

プラン・インターナショナルは、SB60 における気候エンパワーメントのための行動に関する専門家対話と交渉において、以下を約束するよう提言する。

- **地域・国・世界の各地域・国際レベルにおけるあらゆる形態の気候変動対策および政策プロセスへの女の子の有意義な参加を保証すること**
 - a. 気候関連の意思決定に女の子とユース女性が効果的に関与できるよう、追加予算を割り当て、全てのレベルの政府の能力を強化すること。

¹⁸ Plan International blog to be published later in 2024.

¹⁹ UNICEF Innocenti, [Loss and damage finance for children](#), December 2023.

²⁰ UNICEF Innocenti – Global Office of Research and Foresight, [Climate Justice: Loss and damage finance for children](#), UNICEF Innocenti, Florence, December 2023.

²¹ Plan International, [Reimagining climate education and youth leadership](#), July 2021.

- b. ジェンダー平等、気候変動、災害に関する人びとへの教育と啓発を強化し、女の子が気候変動運動を主導できる、歓迎された開かれた市民スペースを作ること。
- c. ユース気候評議会を含め、女の子が政策立案や実施に参加することを奨励する正式な仕組みを作り、維持すること。
- d. 有意義で安全な方法で、あらゆる形態の気候変動対策に参加する女の子の権利を明示し、促進すること。具体的には以下の取り組みを求める。
 - i. 気候変動対策や政策プロセスへの参加を阻むジェンダーや年齢特有の障壁に対処し、女の子の有意義な参加を促進する環境を整えること。
 - ii. 思春期の女の子が気候変動政策とプログラムの開発、検証、実施、監視に有意義に関与する機会を保証すること。
- e. 災害リスク、気候の影響、リスク削減、政策枠組みに関する情報が入手でき、ジェンダーに配慮され、それを提供する政府の役割が認識されるようにすること。
- f. 包括的な学校安全枠組みを通じて、教育システムのレジリエンスを強化し、学校における気候変動教育を改善することを保証し、この枠組みを ACE ダイアログにおける重要なツールとして強調すること(「気候エンパワーメント行動に関するグラスゴー作業計画」ツールと支援に関する行動 C)。
- g. 包括的な学校安全枠組み、運営指針、目標と指標、特にジェンダーに関する主要な事例研究が行動 C2 に含まれるようにすること。
- h. 教育が子どもの権利であることを鑑み、「子どもと気候変動に関する専門家対話」にて、教育が中心的役割を果たすようにすること。そこには、気候変動が子どもの教育や安全に対する権利に与える影響と、学校での質の高い気候教育の欠如の両方を含める必要がある。

2.2 | 適応

「女の子は、気候危機の受動的な犠牲者ではなく、私たちは初期行動を主導する準備ができています。女の子主導のネットワークを通じて、気候教育プロジェクトを主導し、学びを行動に移しています。でも、私たちだけではできません。私たちの声と行動を初期行動システムに繋げるための支援が必要なのです。」 Esther、COP28 大統領円卓会議にて、シエラレオネ

「『Because I am a Girl Movement』のリーダーとして、私たちは諦めるためにここにいるわけではありません。私たちは強く、勇敢で、行動の準備ができています。私たちのネットワークを通じて、またプラン・インターナショナル・エクアドルや Education Cannot Wait と協力して、私たちは緊急事態と気候変動における教育に関するプロジェクトを主導しています。その成果のひとつが、エクアドルで質の高い気候変動教育実現を狙う同人誌です。」Wenddy、ユースベネズエラ人移民、予測行動に関する世界対話プラットフォームにて、2023 年

教育、保護、保健システムを含む基本的なサービスを、緊急かつ子どもやジェンダーに対応した形で適応させることは、継続的なアクセスを確保し、女の子特有のニーズに対応するために不可欠である。気候変動に耐性のある社会を構築するためには、地域主導、そして女の子主導の適応を可能にする環境が鍵となる。

子どもやジェンダーに配慮した予測的行動もまた、すべての人の災害レジリエンスを達成するために極めて重要である。予測的行動とは、予想される影響を軽減するために、災害に先立って取られる行動を指す。予測(トリガー)に基づいて早期警報が発せられ、災害が発生するまでの間、あるいはその影響がピークに達するまでの間(干ば



つ時など)に実施される介入策を指す。女の子は、自身のニーズが満たされるよう、予測行動のプロセスに情報を提供する権利を有する。

適応への資金は依然不十分である。世界的な気候変動資金のうち、適応への充当はわずか 27%に過ぎず、これに対し 2021 年の軽減への充当は 60%であった²²。国連環境計画(UNEP)は、これ以上の投資がなければ、2030 年までに適応資金に年間 2,150 億~3,870 億ドルの不足が生じると推定している²³。

プラン・インターナショナルは、SB60 における適応に関する専門家対話および交渉において、以下の事項を約束するよう勧告する。

- ▶ ジェンダーに配慮し、教育、子どもの保護、保健の各システムにおける気候変動へのレジリエンスを強化するための戦略を、あらゆるレベルの計画に盛り込む-地元主導の適応と整合させ、国家適応計画に盛り込むこと
- a. 国の適応計画や戦略の一環として、また適応に関する情報交換や報告において、子ども特有の、年齢やジェンダーに細分化されたデータの入手可能性を高め、活用すること。
- b. 適応に関するグローバル目標/世界的な気候レジリエンスのための UAE フレームワークのモニタリング枠組みに、気候教育と包括的な学校安全の目標と指標を含めること。
- c. 教育、保護、保健にわたる適応プログラムの設計、実施、モニタリングにおいて、女の子の参加とリーダーシップへの年齢とジェンダーの障壁に対処すること。
- d. 教育、保護、保健といった基本的サービスへのアクセスを継続的に確保するために、ジェンダーと子どもに配慮したマルチハザードの早期警戒システムと予測行動の実施を促進すること。
 - i. 子どもに対応した事前行動を確保するために、セクター横断的な調整に投資する。
 - ii. Children in a Changing Climate Coalition のような、子どもに配慮した予測行動に関する機関間協力のための革新的な資金調達メカニズムを促進すること。

2.3 | 損失と損害

「子どもたち自身が身をもって体験しているからです。もし私たちのトップにリーダーがいて、損失・損害基金や基金の使い道についてすべてを決定するのであれば、子どもたちがどのように損失や損害を経験しているのかを十分に理解することはできないでしょう。」 George、16 歳、ザンビア²⁴

「災害のたびに子どもたちは深刻な打撃を受けています。損失・損害基金は、仮設の学習スペースや子どもにやさしい環境の整備を支援することができます。災害直後、こうしたスペースは教育や心理的サポートを提供し、混乱の中で子どもたちが平常心を取り戻すことができるでしょう。」 Arushi、16 歳、インド²⁵

損失と損害に対応するためのジェンダー・トランスフォーマティブで包摂的なプロセスと仕組みは、女の子に特有の影響に対処するための鍵である。気候変動による損失と損害は、女の子が今日直面している世代間の最大の不

²² OECD, [Climate Finance Provided and Mobilised by Developed Countries in 2013-2021: Aggregate Trends and Opportunities for Scaling Up Adaptation and Mobilised Private Finance](#), Climate Finance and the USD 100 Billion Goal, 2023.

²³ UN Environment Programme, [Adaptation Gap Report 2023: Underfinanced. Underprepared – Inadequate investment and planning on climate adaptation leaves world exposed](#), November 2023.

²⁴ UNICEF Innocenti – Global Office of Research and Foresight, [Climate Justice: Loss and damage finance for children](#), UNICEF Innocenti, Florence, December 2023.

²⁵ UNICEF Innocenti – Global Office of Research and Foresight, [Climate Justice: Loss and damage finance for children](#), UNICEF Innocenti, Florence, December 2023.

正義の一つである。子どもが被る損失と損害の形態には、死亡率の増加や、認知・身体発達、メンタルヘルス、教育、暴力・搾取・虐待への曝露に対する不可逆的な影響が含まれる。女の子は、避難、生計手段の喪失、ジェンダーに基づく暴力(GBV)、心理社会的トラウマなど、不釣り合いな影響を受けている。2030年までに、開発途上国が被る損失と損害の経済的コストは、年間2,900~5,800億ドルと見積もられている²⁶。2050年までに、そのコストは年間1兆~1兆8,000億ドルに達すると推定されている²⁷。

プラン・インターナショナルは、SB60における損失と損害に関する専門家対話および交渉において、以下を約束するよう勧告する。

- **ジェンダーと気候正義を促進するため、全ての「損失と損害」の資金管理および意思決定プロセスの指導原理として女の子の権利を組み込むこと**
 - a. ワルシャワ国際メカニズム(Warsaw International Mechanism、WIM)²⁸の第3回レビュー(テーマ別専門家グループの活動を含む)およびサンティアゴ・ネットワークにおいて、経済的・非経済的損失と損害が女の子に及ぼす不平等な影響に一層の注意を払うこと。
 - b. すべての損失と損害の財務の指針として、女の子の権利を取り入れること。
 - c. 「損失と損害」対応の設計、実施、モニタリングに、多様な女の子が有意義に関与すること(Decision 5/CMA.5, Annex I, paras 29, 62)。
 - d. 女の子とそのコミュニティを対象とし、女の子とそのコミュニティがアクセス可能であり(Decision 5/CMA.5, Annex II, para18)、女の子の高まった状況特有の気候脆弱性に対応するよう調整された、融資ではなく補助金として提供される、損失と損害のための新たな追加資金の展開をすること。
 - e. 子どもとジェンダーに配慮した教育、保護、保健システムの再建と回復のための大幅な資金配分、およびジェンダーと年齢に特化した指標を含めること。
 - f. 効果的な社会的、環境的、人権的セーフガードと、女の子とその家族のための正義へのアクセスを確保し、資金拠出者と実施主体に責任を負わせるためのメカニズムを確立すること。セーフガードには、女の子の権利への影響評価のプロセスを含めるべきである。
 - g. 「損失と被害」への対応資金と計画が、子どもとジェンダーに配慮した早期警報、予測的行動、適応的社会保障、人道的行動、災害リスク管理、より広範な適応と軽減の戦略と資金への投資を通じて、損失と被害を回避し最小化するための、一層の努力をもって調整されること。

2.4 |気候ファイナンス:女の子の不平等な影響に対処するために

「子どもとユースへのエンパワーメントを確実にするために、子どもやユースの団体に直接資金を提供し、ユース向けの物資を入手しやすくします。」 女の子活動家、Global She Leads Climate Cohort

「私たちは適応し、リスクを軽減するために懸命に取り組んでいますが、今、この地域の課題は、計画から行動に移すために必要な財源を得ることにあります。」 Salomé、コスタリカ²⁹

²⁶ IPCC, [Sixth Assessment Report, Climate Change 2022: Impacts, Adaptation and Vulnerability](#), February 2022.

²⁷ Heinrich-Böll-Stiftung, [Unpacking finance for Loss and Damage](#), November 2021.

²⁸ 2013年のCOP19で設立することが合意された、巨大台風などの気候変動の悪影響に関する損失・被害(ロス&ダメージ)に対処する国際組織。

²⁹ Plan International, [From the frontlines: Youth call for action to address loss and damage caused by climate change](#), October 2022.

「結局、それは私たちのせいではなく、過去の行いのせいなのです。そして、私たちが生活する環境を改善するための選択肢について、どのように発言権があるのか、また、その選択肢が考慮されない、あるいは、資金や継続性を得られないことは、時として難しいことです。」 Alejandro、グアテマラ(仮名)³⁰

気候への適応とレジリエンスのための資金不足は、女の子の脆弱性を高め、貧困と不平等の連鎖を永続化させる。他方、気候危機の最前線にいる女の子は、効果的な対応とレジリエンスを構築する戦略を開発するリーダーである。リソースを増やし、利用しやすい気候変動対策資金を提供することも含め、彼女たちを支援する必要がある。しかし、ジェンダー平等を主目的とし、子どもに配慮した気候変動対策への世界的な投資は極めて低く、全気候変動関連の政府開発援助(ODA)の約2.4%にすぎない³¹。現在の気候政策目標を達成したとしても、2020年に生まれた子どもは、1960年に生まれた子どもに比べ、異常気象、特に熱波に2倍から7倍も直面すると予測されている。だからこそ、気候変動対策への資金は、より野心的で子どもに配慮したものでなければならない³²。

プラン・インターナショナルは、SB60における損失と損害に関する専門家対話および交渉において、以下を約束するよう勧告する。

- **特に適応、予測行動、損失と損害のために、ジェンダーに対応し、女の子が利用しやすい、新共同定量化目標の下での気候変動資金を含む、気候変動資金を増加させること**
 - a. ジェンダーに配慮した、子どもに不可欠な社会サービスを最前線に据えて、新たな追加的な気候変動資金の緊急供給を確保すること。
 - b. 気候変動資金は新規かつ追加的なものでなければならず、特に適応、予見的行動、損失と損害に対する助成金の形で提供されるべきである。
 - c. あらゆる段階、レベルにおける気候変動資金の意思決定プロセスにおいて、女の子の多様性に配慮した有意義な関与と参加を統合すること。
 - d. 新しい集団定量化目標(NCQG)を確実にすること。
 - i. 子どもやジェンダーに配慮した気候変動資金を、必要な規模で提供するという定性的な目標を盛り込む。
 - ii. 教育、子どもの保護、保健を含む、ジェンダーに配慮し、気候変動に耐性があり、子どもに不可欠なサービスを優先させる、専用のテーマ別サブゴールを通じて、適応のための資金を緊急に増加させる。
 - iii. 女の子のニーズに応える、子どもにとって不可欠なサービスの再建と回復に優先的に資金を投入する、損失と損害の資金調達に関する専用のテーマ別サブゴールを盛り込む。
 - iv. 子どもの権利、先住民の権利、ジェンダー平等、世代間の公平性など、気候変動の最前線にいる人びととコミュニティの人権を指導原則として優先する。
 - e. **UNFCCC条約下の資金の常設委員会(Standing Committee on Finance; SCF)**が、技術報告書、SCFフォーラム、作業計画および関連報告、最前線のコミュニティとの関わりを含め、気候変動対策とレジリエ

³⁰ UNICEF Innocenti – Global Office of Research and Foresight, [Climate Justice: Loss and damage finance for children](#), UNICEF Innocenti, Florence, December 2023.

³¹ Children's Environmental Rights Initiative, [Falling short: Addressing the climate finance gap for children](#), 2023.

³² Wim Thiery et al., Intergenerational inequities in exposure to climate extremes, September, 2021. The study finds a "disproportionate climate change burden for young generations in the Global South." See also Save the Children, [Born into the climate crisis](#), 2021.

スを加速するために、子どもとジェンダーに配慮した気候変動資金の役割と利益を検討し、気候変動資金が様々な地域で最も脆弱な子どものニーズに対応できるようにする。

- f. 長期的な気候変動資金目標と、開発途上国のニーズと優先事項の評価において、ジェンダーに配慮した気候変動に耐性のある必須サービスなど、女の子の特定の脆弱性とニーズを考慮すること。
- g. 緑の気候基金 (Green Climate Fund; GCF)、適応基金、地球環境ファシリティ (Global Environment Facility; GEF)、損失・損害基金、多国間開発銀行に対し、プロジェクト・サイクルのすべての段階において、目的、関連指標、報告要件、セーフガードを含め、政策、戦略、技術的实施指針に子どもやジェンダーに配慮した規定を採用/統合する必要性について、明確な指針を発行すること。ジェンダーに配慮したチャイルド・マーカを導入し、子ども、特に女の子への対応の貢献度を評価することは、重要な一歩である。

2.5 | ジェンダー

世界的な「She Leads, Climate Cohort」のガールズ・アクティビストたちは、ジェンダー・トランスフォーマティブな行動を求めている。

- ・ テクノロジーを利用した遠隔地からの参加も含め、気候変動に関する対話のための安全な場を作ること
- ・ 政府やユース組織とのパートナーシップを通じて、ユースの声を増幅させること
- ・ ユースと解決策を共創する際に、地元の固有知識と外部の専門知識のバランスを確保すること
- ・ 解決策が包摂的であるようにし、交差的アプローチで活動を設計すること

ジェンダー不平等と気候危機の根本原因の両方に焦点を当てた、ジェンダー・トランスフォーマティブな気候変動対策と政策は、社会から疎外された女の子やユース女性が経験する不平等に対処するために極めて重要である。

気候危機は人道的災害を悪化させ、人道支援の需要を増大させている。災害に対する脆弱性は、様々な権力構造や不平等が交錯することから生まれ、女の子を暴力・搾取・差別の危険にさらしている。年齢やジェンダーだけでなく、社会経済的地位、教育、能力、民族性などの要因に影響される女の子の災害体験は、気候変動に関する意思決定の最前線に位置づけられなければならない。気候関連の緊急事態に迅速かつ効果的に対応し、皆に貢献するためには、子どもとジェンダーに配慮したシステム、プロセス、調整された活動方法への投資が急務である。女の子の教育と安全は、気象災害や資源不足によって特に影響を受け、学校教育を中断させ、CEFMU、強制的な児童労働、性暴力やGBV のリスクを高める可能性がある。女の子の権利への差し迫った課題と、長引く危機や脆弱な状況におけるジェンダー不平等の長期的な問題の両方に対処するためには、人道・開発・平和のネクサスを推進するためのコミットメントが必要である。

プラン・インターナショナルは、SB60 における損失と損害に関する専門家対話および交渉において、以下を約束するよう勧告する。

- **全ての UNFCCC プロセスにおいてジェンダーを優先し、ジェンダーに関するリマ作業計画 (Lima work programme on gender) 及びジェンダー・アクションプラン (gender action plan) のレビューにおいて女の子に焦点を当てること**
 - a. 気候政策、行動、資金が女の子特有の脆弱性に対応するようにし、女の子と女の子を主体とする団体の



視点を増幅し、各国の国が決定する貢献(Nationally Determined Contribution; NDC)³³、国別適応計画(National Adaptation Programme; NAP)、国別報告書の作成に反映させること。

- b. ジェンダーに公正な気候変動対策と意思決定のための政策とプロセスの中心に女の子を据えること。
- c. 女の子と女性を政策、適応、予測行動、損失と損害に有意義に関与させること。
- d. UNFCCC プロセスにおけるジェンダーバランス、参加、女の子と女性のリーダーシップを支援すること。
- e. 女の子特有のニーズに対応し、ジェンダーと気候正義を促進するために、気候変動と人道支援関係者の連携と協力を強化すること。

3 | 結論

気候変動が女の子に及ぼす不平等な影響に対処するには、ジェンダー、世代間、気候正義を優先する緊急かつ協調的な行動が必要である。気候変動の意思決定プロセスにおける女の子の有意義な関与を確保し、ジェンダー・トランスフォーメティブな解決策に投資することで、私たちは現在と将来世代のために、より強靱で公平な社会を築くことができる。

プラン・インターナショナルは、SB60 の「子どもと気候に関する専門家対話」と全てのステークホルダーに対し、気候政策と行動において、あらゆる多様性を持つ女の子の権利と幸福を優先し、持続可能な未来のためにジェンダーと気候の正義を推進するよう求める。

³³ パリ協定に基づいて各国が作成・通報・維持しなければならない温室効果ガスの排出削減目標等のこと。



附属書 | プラン・インターナショナルの気候調査および報告書

- [Adolescent girls in crisis: Experiences of migration in Central America and Mexico](#), 2023
(邦訳「危機状況下にある思春期の女の子たち: 中米とメキシコにおける移住の経験」)
- [Adolescent Girls in the Climate Crisis: Voices from Zambia and Zimbabwe](#), September 2021
(邦訳「気候危機における思春期の女の子たち: ザンビアとジンバブエからの声」)
- [A Tough Period: Global Report](#), May 2023 (邦訳「つらい生理」)
- [Climate Justice: Loss and Damage Finance for Children](#). Transmission to Transitional Committee, August 2023 (邦訳「子どもの権利および損失と損害に関する移行委員会へのお願い」)
- [Disaster risk reduction and climate change adaptation](#), October 2023
- [From the frontlines: Youth call for action to address loss and damage caused by climate change](#), October 2022 (邦訳「最前線から」)
- [For Our Futures: Youth Voices on Climate Justice and Education](#), December 2023
(邦訳「未来のために: 気候正義と教育に関するユースの声」)
- [Girls' activism and leadership for climate justice in Asia and the Pacific](#), May 2023
(邦訳「アジア太平洋地域の女の子たちの気候正義活動とリーダーシップ」)
- [Real Lives, Real Choices Climate Change and Girls Education: Barriers, Gender Norms and Pathways to Resilience](#), November 2023
(邦訳: 「気候変動と女子教育: 障壁、ジェンダー規範、回復力 への道筋」)
- [Reimagining Climate Education and Youth Leadership](#), July 2021
(邦訳「気候変動教育とユース・リーダーシップの再考: 調査レポート」)
- [2021 Safe Schools Global Programme - Our goals](#), Bangladesh, 2022
- [Supporting women to take the lead in renewable energy](#), July 2023
- [Young People and Green Skills: Preparing for a sustainable future](#), Kenya, 2022
(邦訳「ユースとグリーンスキル~持続可能な未来への準備」)
- [Youth Leadership in Climate Policy Workbook](#)
- [Working with young people to adapt cities for climate resilience](#), October 2021
- [5 ways the climate crisis is disrupting girls' lives](#)